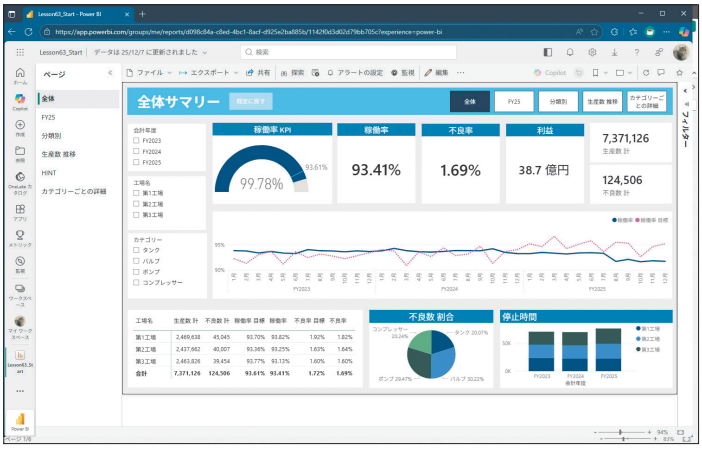
2 発行したレポートを確認する

発行したレポートをWebブラウザーで開く

1 [Power BIで'（ファイル名）'を開く] をクリック



Webブラウザーが起動し、Power BIサービスの画面が表示された



使いこなしのヒント

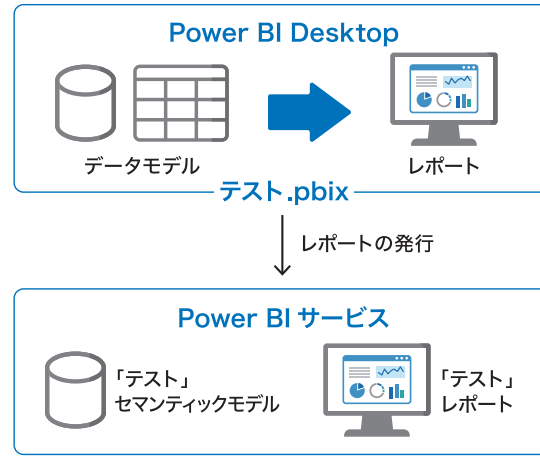
マイワークスペースとは?

レッスン11で解説したとおり、マイワークスペースは自分専用の作業スペースです。ここに発行したレポートは、基本的に自分だけが閲覧できますが、必要に応じて他のユーザーへ共有するよう設定することもできます。一方、レポートを共有ワークスペースへ発行した場合は、そのワークスペースにアクセス権を持つユーザー全員がレポートを閲覧できるようになります。このように、レポートを発行する先が個人用（マイワークスペース）か、チーム共有用（共有ワークスペース）かによって、レポートの公開範囲は大きく異なります。用途に応じて発行先とするワークスペースを選択しましょう。

使いこなしのヒント

発行後のコンテンツは?

Power BI DesktopからPower BIサービスへレポートを発行すると、サービス側にはレポートとセマンティックモデルの2つのコンテンツが作成されます。セマンティックモデルは、発行元となったpbixファイル内のデータモデルやクエリを保持するもので、サービス上のレポートはこのセマンティックモデルを参照して動作します。



Power BIサービスでは、レポートとデータモデル（セマンティックモデル）が分離された形で管理される